

2020年4月6日

国内3つの研究・製造拠点でアクアプレミアムを導入 - 温室効果ガスを排出しない水力発電由来の電力に切り替え -

アステラス製薬株式会社(本社:東京、代表取締役社長 CEO:安川 健司、以下「アステラス製薬」)は、4月から日本国内の3つの研究・製造拠点(つくば研究センター、つくばバイオ研究センターおよび高萩合成技術センター)が消費する全ての電力を、温室効果ガスを排出しない水力発電由来の電力として東京電力エナジーパートナー株式会社が提供している「アクアプレミアム」*1に切り替えます。

アステラス製薬は、世界の人々の健康に貢献する企業として、持続可能な社会の発展に貢献していくため、地球環境と調和した事業活動に取り組んでいます。その中でも気候変動対策については経営の重要課題と位置づけ、これまで海外の製造拠点での風力発電・バイオマスボイラーの導入や再生可能エネルギー由来電力の利用、国内外でのハイブリッド営業車の導入など、積極的な温室効果ガス削減策を実施してきました。2018年には、2050年の社会が目指すべきゴールからバックカスティング*2して見直した、当社の中長期的な温室効果ガスの排出削減目標が Science Based Targets (SBT) イニシアチブ*3により科学的根拠に基づいた目標として認定されました。

今回、日本国内の3つの拠点に「アクアプレミアム」を導入することにより、3拠点の電力消費によって排出される温室効果ガス約31,000トン(2019年実績)が、2020年度から全量削減される見通しとなります。アステラス製薬は、2030年度までに温室効果ガスの排出量を基準年2015年度比で30%削減(基準年の排出量:221,000トン)とすることを目標としており、この目標について SBT イニシアチブの認定を取得しています。「アクアプレミアム」の導入は、2030年度の温室効果ガス排出削減目標に対し大きく貢献する重要な施策になると期待しています。

アステラス製薬は、今後も気候変動など世界的な環境課題の解決に向けて継続的に取り組み、地球環境と調和した事業活動を通じて、世界の人々の健康に貢献していきます。

以上

*1 **アクアプレミアム**:東京電力エナジーパートナー株式会社が提供する、発電時に温室効果ガスを排出しない水力発電の電力のみを販売する料金プラン。

*2 **バックキャストイング**:未来のあるべき姿から逆算して、現在の施策を考える思考法。

*3 **Science Based Targets(SBT)イニシアチブ**:2015年にCDP、国連グローバルコンパクト、世界資源研究所および世界自然保護基金の4団体が共同で設立した団体。2015年に採択された「パリ協定」の「2℃目標」達成に向け、国だけではなく企業にも温室効果ガスの削減目標の設定などを働きかける国際的なイニシアチブ。

アステラス製薬株式会社について

アステラス製薬は、東京に本社を置き、「先端・信頼の医薬で、世界の人々の健康に貢献する」ことを経営理念に掲げる製薬企業です。アステラス製薬の詳細については、(<https://www.astellas.com/jp/>)をご覧ください。

注意事項

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラス製薬の業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i)医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii)為替レートの変動、(iii)新製品発売の遅延、(iv)新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v)競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi)第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、このプレスリリースに含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

お問い合わせ先:

アステラス製薬株式会社
コーポレート・アドボカシー&リレーション部
TEL: 03-3244-3201 FAX: 03-5201-7473